

FM来店顧客管理システム

操作ガイド

第1版

リーダライタのセットアップ

ソフトウェアの起動

ICカード記録時の動作/顧客登録

その他の機能

注意事項

【動作環境/導入に必要なもの】

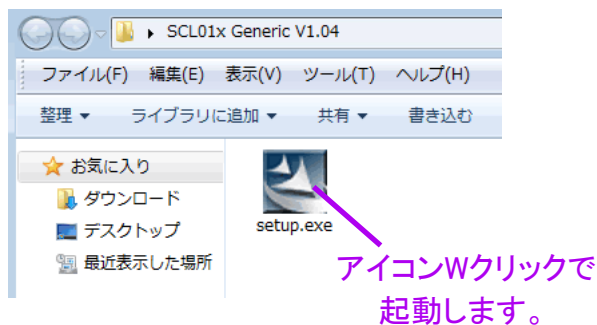
- .NET Framework 3.5 以上
- FileMakerPro12が動作する環境
- 卓上型NFCリーダライタSCL010
(上記以外のリーダでは動作しません)

開発/販売 ファインテック

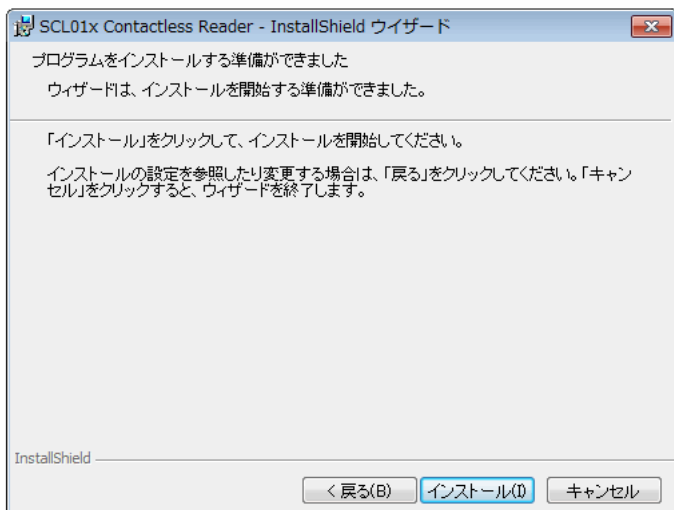
<http://www.fti.ne.jp/>

リーダライタのセットアップ

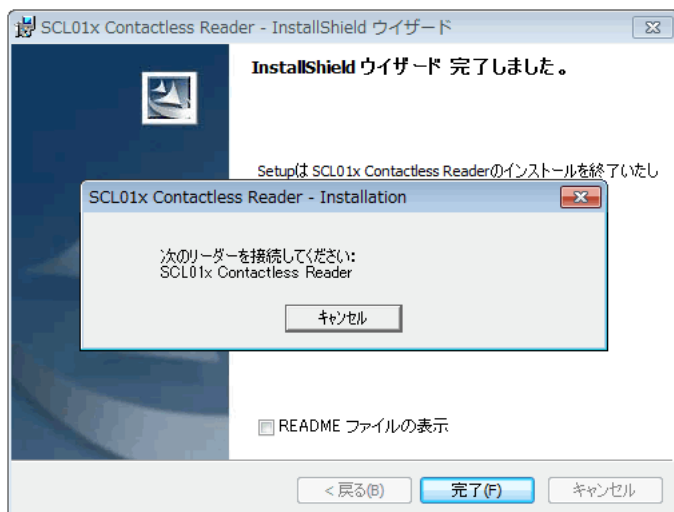
卓上型NFCリーダライタSCL010をご購入いただき、来店顧客管理システムを利用するパソコンで、SCL010を使用できるようにセットアップを行ってください。尚、NFCリーダライタSCL010をパソコンに接続する前に以下のドライバをインストールしてください。



弊社来店顧客管理のホームページ、もしくはオレンジタグ様のSCL010のドライバをダウンロードいただき、「SCL01x Generic V1.04」のフォルダ内のsetup.exeをWクリックしてインストールを開始してください。



setup.exeをWクリック後、各画面の指示に従ってインストールを行います。

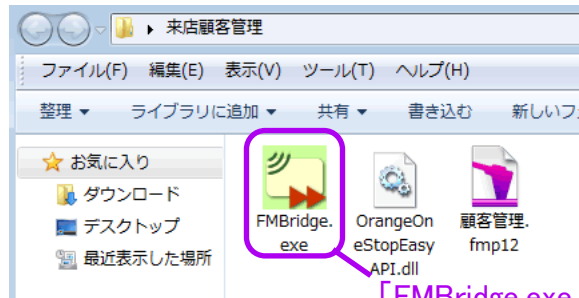


左のメッセージが表示されましたら、NFCリーダライタSCL010をパソコンへ接続してください。接続して認識するために数分かかる場合がございますので、しばらくお待ちください。NFCリーダライタSCL010のランプが点灯したら使用可能です。

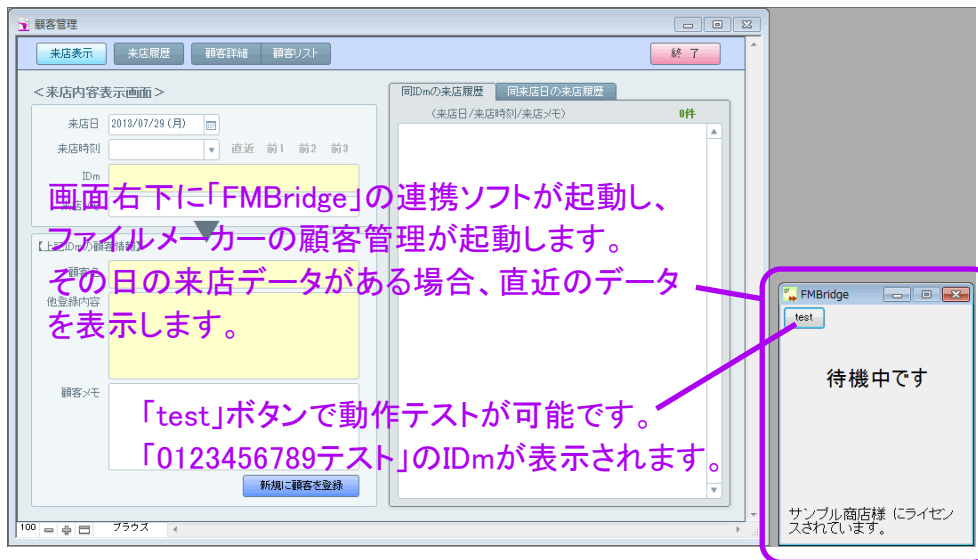
上記の作業で点灯しない場合はパソコンを再起動して、NFCリーダライタを接続し直してみてください。

ソフトウェアの起動

「FMBridge.exe」をWクリックすると、ICカードのIDmをファイルメーカーの「顧客管理」のファイルへ橋渡しするソフトが画面右下に開き、「顧客管理.fmp12」を起動するようになっています。両者を開いた待機状態のままにしておいてください。FMBridgeは常に画面の最前面に表示されるようになっています。また最小化は可能です。



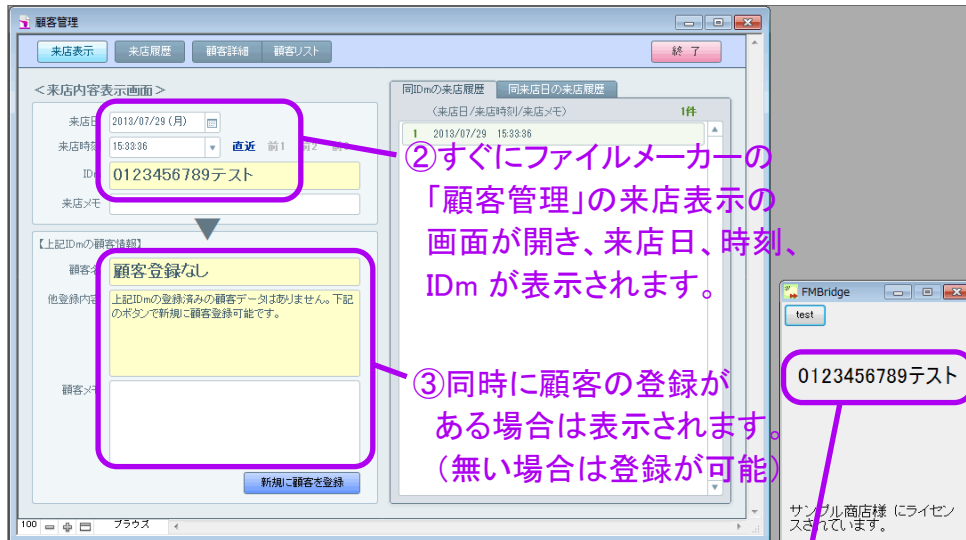
「FMBridge.exe」をWクリックして起動します。



「IDm」とはICカードを識別するための固有の番号になります。FMBridgeではIDmをICカードから読み取り、パソコンのクリップボードを経由して、ファイルメーカーProの顧客管理のスクリプトを呼び出して、顧客管理で記録します。

ICカード記録時の動作/顧客登録

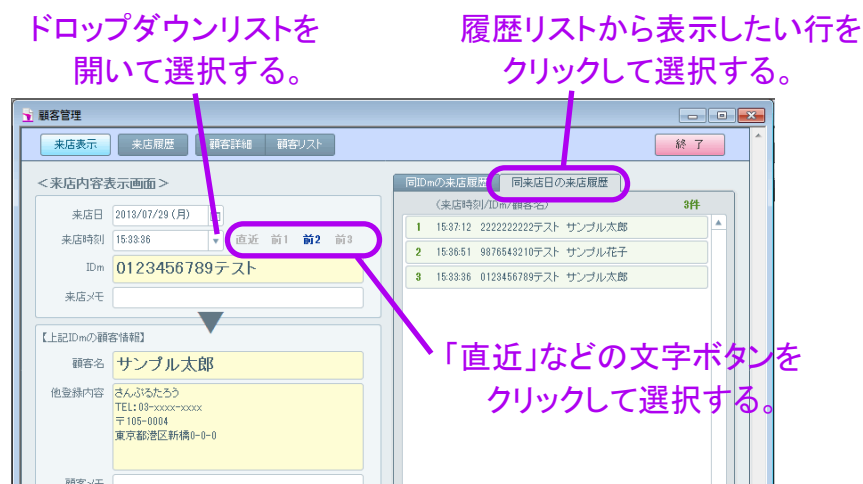
待機状態でICカードをリーダにタッチすると、画面右下のFMBridgeにICカードのIDmが表示され、顧客管理のファイルの来店表示の画面に切り替えて、IDmが表示されます。登録済みの顧客の場合は顧客情報が表示されます。



①ICカードのIDmが表示されます。
2～3秒後に、画面の表示が「待機中です」に戻ります。

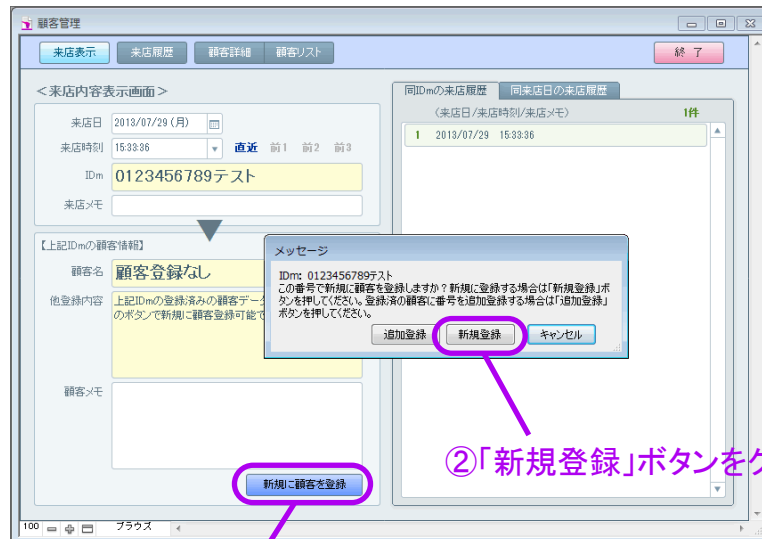
<来店履歴からデータを表示する方法>

記録があると来店履歴のデータとして保存されていきます。来店表示の画面で以下の3通りの方法で過去の履歴データを表示できます。



<新規に顧客を登録する場合>

記録したIDmで顧客の登録がない場合は、顧客名欄に「顧客登録なし」と表示されます。画面下の「新規に顧客を登録」ボタンをクリックして、「新規登録」ボタンをクリックすると顧客詳細画面へ移動して新規に顧客が登録可能な状態になりますので、必要な情報を入力してください。



①「新規に顧客を登録」ボタンをクリックします。

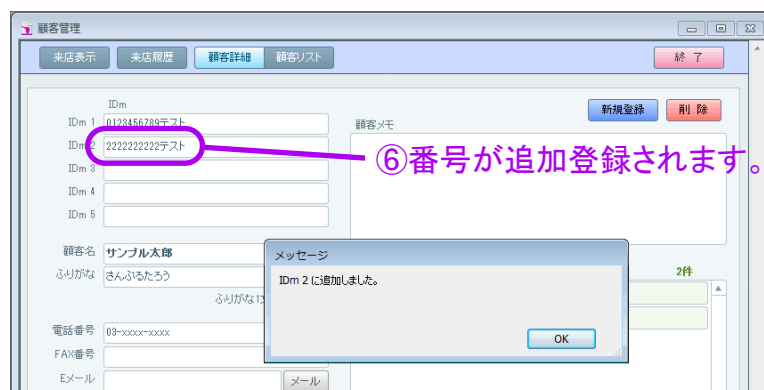
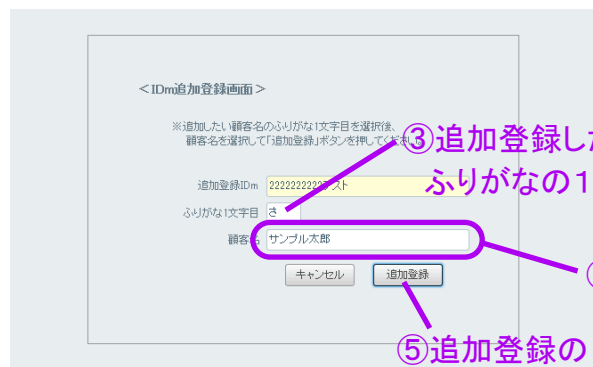
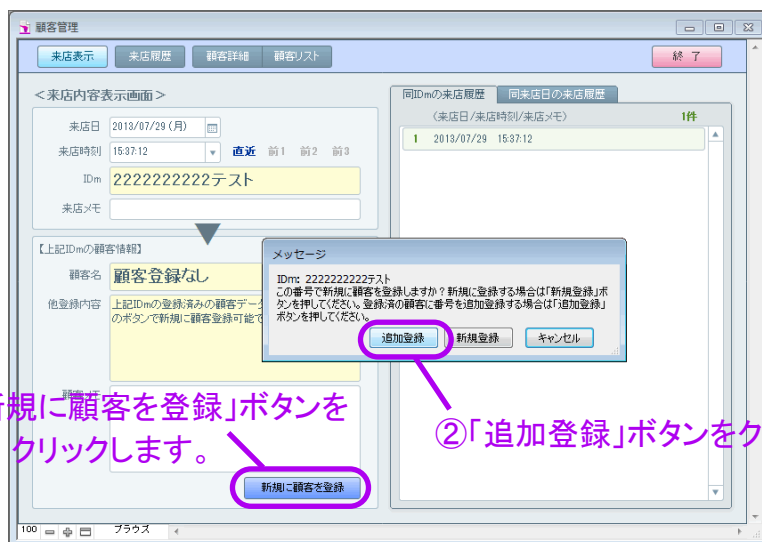


③新規にレコードが作成されて自動で着信番号が入力された状態になりますので、他に必要な情報を入力してください。

「新規に顧客を登録」ボタンは、そのIDmで既に登録済みの顧客データがある場合は「顧客データへ移動」の名前が変わって、ボタンを押すことで登録済みの顧客データへ移動できます。

＜登録済みの顧客へ追加登録する場合＞

記録したIDmで顧客の登録がない場合は顧客名欄に「顧客登録なし」と表示されます。画面下の「新規に顧客を登録」ボタンをクリックし、「追加登録」ボタンをクリックすると追加登録画面へ移動するので、追加したい顧客名のふりがな1文字目を選択した後に顧客名を選択して、「追加登録」のボタンを押してください。顧客詳細の画面へ移動してIDm欄に番号が追加登録されます。



その他の機能

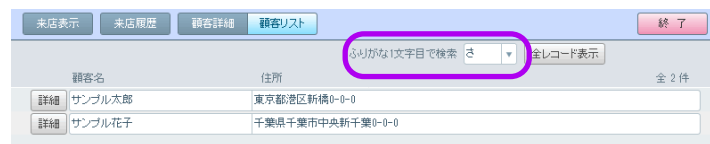
<リストデータ自動検索機能>

来店履歴では「本日」、「昨日」などのボタンを押すと自動検索を行って該当するデータを表示します。また顧客リストの画面では画面上部のふりがな1文字目を選択すると自動でデータを表示します。もちろんファイルメーカーの機能を利用しての手動検索も可能です。



来店日	来店時刻	IDm	顧客名	住所
2018/07/29	15:33:36	0123456789テスト	サンプル太郎	
2018/07/29	15:36:51	9876543210テスト	サンプル花子	
2018/07/29	15:37:12	2222222222テスト	サンプル太郎	

自動検索が可能です。



顧客名	住所
サンプル太郎	東京都港区新橋0-0-0
サンプル花子	千葉県千葉市中央新千葉0-0-0

注意事項

FMBridgeでは、ICカードの読み取り時にWindow7/8でスマートカードのインストールが始まってしまう問題を解決するためにCertificate Propagationのサービスを一旦停止するようにプログラムしています。お使いの端末でCertificate Propagationのサービスを利用する周辺機器やソフトウェアは使用しないようしてください。（通常使用では特に問題はありません）

上記の設定がうまく動作しない場合はFMBridge.exeのプロパティの互換性のタブの画面で、「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れて使用してください。

ICカードの読み取り時には読み取り成功後、2重記録防止のために2～3秒間は読み取りを停止した状態となります。記録直後は2～3秒待つてICカードをタッチしてください。

ファイルメーカーProのファイルである「顧客管理.fmp12」は橋渡しをするシステムファイルであるFMBridge.exeとOrangeOneStopEasyAPI.dllの2つのファイルと同じ場所で管理する必要があります。必ず3つのファイルを同じ場所へ配置してから起動してください。またファイル名の変更、顧客管理のアカウント名やパスワードの変更を行うとシステムが動作しなくなりますのでご注意ください。

お客様にてカスタマイズを行った後にうまく機能しなくなった場合、弊社にて問題の解析、問題解決のための修正を行うことは可能ですが有料となってしまいますので、お客様にてカスタマイズを行う際はバックアップを取っておき、十分ご注意の上、カスタマイズを行ってください。